

「そろそろ、ですよ！」

季節を安心して楽しむメンテナンス情報を
マリモコミュニティからお届けします。



春の大掃除

「スプリング・クリーニング」を知っていますか？

日本の常識では、大掃除と言えば年末。でも欧米では、寒さがやわらぐ春〜初夏の大掃除が定番です。

春の大掃除のメリット

欧米で「スプリング・クリーニング」と呼ばれる春の大掃除は、暖房に石炭を使っていた時代、暖かくなつてから家中のすす汚れを落としていたことから始まった習慣なのだとか。日本でも、春〜初夏は掃除に最適な季節です。寒さや暑さが厳しくないため、屋外での作業や水を使う拭き掃除も辛くありません。さらに、家じゅうの窓を開けて、換気をしながらか持ちよく掃除に取り掛かれます。春に多い花粉や黄砂の汚れも、このタイミングですつきり取り除いておきましょう。

ホコリでくもった窓をきれいに

春の大掃除に適しているところのひとつが「窓」。年末にピカピカにしても、冬の結露や春の花粉などで汚れています。窓ガラスは、はたきやハンドモップでホコリをはらった後「水拭き」↓「から拭き」。レールに溜まった土ホコリは、ブラシなどでかき出しましょう。

バルコニーは「水拭き」で窓とセットできれいに

おきたいのがバルコニーです。まず、大きなごみや土ボコリを掃き集めて捨てます。その後、濡らしたほうきで掃き、こびりついた汚れを落としましょう。手すりやエアコンの室外機もさっと水拭きしておくと、すつきり感がアップします。

しつかりお掃除 & 賢い対策で **バスマルム**の **カビ&ヌメリ**を予防

暖かくて湿度が高いバスマルムは、カビやヌメリが発生しやすい場所。梅雨のジメジメする季節に備えて、カビ&ヌメリを防ぐ方法を知っておきましょう。

カビのエサを残さない！

石けんかすや皮脂、湯あかなどの汚れはカビやヌメリのもと。できるだけ残さないよう、こまめに掃除をすることが大切です。浴槽や壁、床、洗面器などは、浴室用洗剤をスプレーした後、

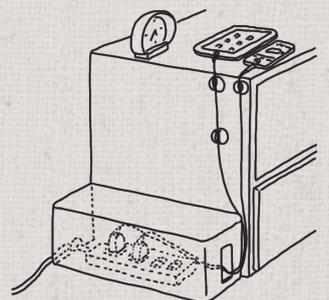
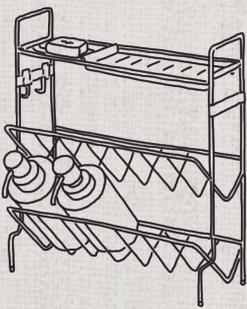
ブラシやスポンジでこすり洗いを。壁は、石けんかすなどがつきやすいと言われる胸から下ぐらゐの高さまでをとくに丁寧に洗います。タイルの目地などにカビが生えているときは、専用の洗剤で退治しておきます。

カビ予防には熱めのお湯が効果的！

カビが死滅する温度は45度以上だといわれています。掃除の仕上げには、45度以上に設定したお湯をかけるようにしましょう。週に一度、45度以上のお湯を浴室内にまんべんなくかけるだけで、カビが予防できます。その後、冷水をかけてバスマルム内の室温を下げておくようにしましょう。

シャンプーなどはラックに

シャンプーなどのボトルは水切れのよいラックなどに入れ、できるだけ底を乾かしておく工夫を。床や棚にじか置きにすると、底部分がつねにジメジメしているため、カビやヌメリが発生しやすくなってしまいます。



コード類をすつきりまとめるひと工夫

家電製品のコードやケーブルがたくさん見えていると、部屋全体がなんとなく散らかった印象に。市販のグッズを上手に使って、すつきりまとめてみましょう。

タップごと箱に収納

周辺機器が多いパソコンやテレビなど、たくさんコードやケーブルが必要などころには、専用の収納ボックスがおすすすめ。タップと余分なコードをまとめて入れておくことができます。

基本は束ねる&沿わせる

コードやケーブルの数が多いたときは、結束バンドでまとめておきます。長いコードの処理には、壁や家具に沿わせて固定する専用グッズを使ってみましょう。